

地域で自立したバイオマスエネルギーの活用モデルを 確立するための実証事業

資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギー課
03-3501-4031

令和2年度概算要求額 **11.3億円（12.5億円）**

事業の内容

事業目的・概要

- バイオマスエネルギーは、再生可能な生物由来エネルギーであり、地域活性化に資するエネルギー源として、普及が期待されていますが、燃料コスト低減や長期にわたる安定的な原料調達の確保等の課題があり、経済的に自立した事業モデルの構築が困難な状況です。
- 本事業では、経済的に自立したバイオマスエネルギー利用システムに関して、以下のように、導入要件・技術指針と具体的な事業モデルを明確化します。
 - ① バイオマスの種類毎（未利用木材、畜産廃棄物、都市ごみ等）に経済的に自立可能な要件及び要素技術を洗い直し、導入要件・技術指針としてまとめます。
 - ② 実証事業に向けた事業性調査（FS）を行います。
 - ③ 事業採算性の見込みのある事業に対し、導入要件・技術指針に合致したモデル実証と、改良が必要な技術の開発を行います。
 - ④ 開発及び実証の成果を反映させた導入要件・技術指針と共に、事業モデルを公開し、更なる導入促進に貢献します。

成果目標

- 平成26年度から令和2年度までの7年間の事業であり、実証事業（7件以上）による事業モデルを提示することで、国内におけるバイオマスエネルギーの導入促進と経済的に自立した事業運営、及びそれに伴うバイオマス産業育成に貢献することを目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

